

令和4年9月26日(月)

幼保連携型認定こども園 津田このみ学園



9月 ひばりぐみだより

暑さもようやく一段落し、季節の移り変わりを感じる頃となりました。ひばりぐみでは、スズムシの涼しげな声が鳴り響き、どんとカブトムシの卵も孵って、「きれいな声がするなあ。」「カブトムシの幼虫になってる!」と喜んでいます。また、カブトムシのゼリーはちゃんとはいっているかな?新しく卵は孵っているかな?とお世話も頑張っています。



絶対絶対頑張るぞー!! えいえいおー!!

スポーツの秋がやってきました。クラスでも、皆で手をつないだままフラフープに体を通していく“フープ送り”や“しっぽ取り”など競いながら遊んでいます。フープ送りでは、どのようにしたら素早くフープを送ることができるのかを話し合いました。上手な子にコツを聞くと…「足から通すんや!」「私は頭からがいい!」とそれぞれにコツがあるようです。また、足からフープを通す時には、つないだ手を下にさげる、頭から通す時には上にあげる、というように手をつないでいるお友達との協力も必要です。特にあかぐみさんは初めてのフープ送りで、どうしたらいいのか戸惑う姿もあります。そのような時、「足をあげるんだよ。」と年長さんとあおぐみさんが優しく声をかけたり、フープが通るように手を動かして助けてあげたりしています。話し合いをして、最初よりも上手にフープを送れるようになり、少し自信もつきました。そして、「他のクラスとも対決したい!!」と、他クラスに対決を申し込みに行くことにしました。もちろん、返事はオッケー!!「絶対に勝つぞー!!」「おー!!!」と気合も十分です。ところが勝負の結果は、2回戦して2敗…!!泣き出す子、「もー!!」と地団太を踏む子、と悔しさを滲ませています。対決の後には、悔しい気持ちを伝え合い、どうしたらいいのかもう一度話し合いました。「次は絶対に負けないぞ!」と気持ちを新たにしました。フープ送りだけでなく、様々な遊びでクラス対抗戦があります。悔しさをバネに、クラスで協力して勝利を勝ち取りたいです。頑張るぞー!おー!

これは、なんだろう?

それは、カブトムシケースの土を変えようとしたときのことでした。袋から土をだすと、「なんかでてきたで!!」「幼虫じゃない?」と子ども達。なんと、土の袋から17匹もの幼虫が出てきました。「なんで?」と幼虫が出てきたことを疑問に感じながらも、「カブトムシの幼虫?」「逃げたカブトムシが卵を産んだのかな?」と話していました。そんな中、ひばりぐみの虫博士である G 君が「カナブンや!」。言われてみると、ちょっとカブトムシの幼虫とは違うような…?「なんやろうな!」「カブトムシがいいなあ。」と子ども達も興味津々で、試しに育てることにしました。ひばりぐみの希望としてはカブトムシの幼虫であって欲しいものですが、一体何になるのでしょうか。



この中から
17匹も…